

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	平成32年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		手話通訳者養成事業費補助金 手話講習会・研修会を開催し、手話通訳者の技術向上養成を図る事業の運営に対して補助を行う。					
款・項・目		民生費 障がい福祉費 障がい福祉総務費					
所属等		福祉部 障がい福祉課 管理係 内線025-226-1238					

年 度		平成29年度（1年目）		平成30年度（2年目）		令和元年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	60		60		60	
	決算(千円)	60		60		60	
補 助 率		100%		100%		100%	
目 標		新潟市手話奉仕員の資質や通訳技術の向上を図るため開催された講習会等への参加者数の前年比増 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上	98.6%	140人	99.3%	139人	99.2%	138人
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		会報					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 補助率は1/2以上であるが、補助団体実施事業は手話の普及や手話奉仕員の技術向上に寄与しており、非常に有益であることから補助を継続する。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 手話通訳者の養成に向けて手話奉仕員の技術の向上に寄与するだけでなく、聴覚障がい者を交えた学習会、講演会を通じて、一般市民への手話の理解や普及が図られている。手話通訳者養成のために必要な知識や技術を身に付けるための学習会等に対し、引き続き補助を行っていく。					